

## 葉茎菜類におけるセル成型苗の利用技術

### 第1報 ブロッコリーの育苗日数

馬場高行・木幡正宏・相星勝美<sup>1)</sup> (鹿児島農業試験場大隅支場・<sup>1)</sup>鹿児島県農林技術協会)

Takayuki BABA, Masahiro KOHATA and Katumi AIHOSHI :

Techniques for Using Plugs of Leaf Vegetables

1. Dates of Raisig Seedlings on Broccoli

野菜生産者の高齢化や労力不足が深刻化する中で、省力的かつ効率的な苗生産システムとしてセル成型苗の利用が大きくクローズアップされている。しかし、従来とは育苗法が大きく異なり、また非常に小さな苗であるため、新たな技術対応が必要とされている。そこで、セル成型苗の実用化技術確立のため、ブロッコリーの育苗日数について検討したので紹介する。

#### 1. 試験方法

1) 試験1 (定植期を同一) : 供試品種 'しげもり', 定植期1992年10月8日とし、育苗日数15日、20日、25日の3段階を設定。育苗トレイは日新トレーディング128穴及び200穴。

2) 試験2 (播種期を同一) : 供試品種 'しげもり', '直緑28号', 'グリーンパール' の3品種、播種期1993年9月14日、育苗日数20日、25日、30日の3段階を設定。育苗トレイは、日新トレーディング128穴。

#### 2. 結果及び考察

##### 1) 試験1 (定植期を同一)

128穴・15日苗は根鉢の形成が充分でなく、200穴・25日苗では、過繁茂気味でやや徒長しており、定植作業が非常に困難であった。収穫期及び収量は播種期の影響を大きく受け、収穫期は両穴数とも育苗日数が長いほど早くなり、トレイ間では大差なかった。収量は、育苗日数が長くなるほどやや多くなり、トレイ間では128穴が200穴をやや上回った。品質では各区とも大差なかった。

以上のことから、128穴、200穴とも適正な日数は20~25日と考えられた。

##### 2) 試験2 (播種期を同一)

20日苗は、各品種とも根の発達が十分でなく、トレイからの抜き取り時に根鉢が壊れる苗があった。25日苗は根鉢が壊れることもなく、良好な育成であった。30日苗は、根の発達は十分であったものの、地上部が過繁茂で、やや抜き取りにくかった。品種別のa当たり収量は、グリーンパール>しげもり≧直緑28号の順となった。育苗日数別では、各品種とも育苗日数が長くなるほど収量は少なくなる傾向にあり、特にグリーンパールでその傾向が顕著であった。これは、収穫期が遅くなると低温の影響が大きくなるためであると考えられた。また、花蕾径、盛り上がり、重量とも同様な傾向であった。

以上のことから、各品種とも適正な育苗日数は、25日程度と考えられた。

以上総合すると、秋播きブロッコリー栽培における適正な育苗日数は、植付けやすさ、収量等から、128穴、

200穴とも25日程度であると考えられる。

第1表 定植期を同一にした場合

項目 育苗 トレイ 日数	時期別収穫個数割合(%)				a 当たり 収量 (kg)
	12月		1月		
	中旬	下旬	上旬	中旬	
15			55.0	45.0	107
128穴 20			77.5	22.5	112
25		20.0	80.0		114
15			55.0	45.0	99
200穴 20			80.0	20.0	110
25		60.0	40.0		110
慣行苗	72.5	27.5			125

注) a) 品種: しげもり  
b) 定植期: 10月8日

第2表 播種期を同一にした場合

項目 品種 育苗 日数	時期別収穫個数割合(%)						a 当たり 収量 (kg)
	12月		1月		2月		
	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	下旬	
しげ もり	20	100					141
	25	43	57				138
	30		100				136
直緑 28号	20		100				141
	25			100			133
	30				94	6	131
グリーン パール	20			76	24		186
	25			76	24		171
	30			39	61		153

注) 播種期: 9月14日